

企画展予告



01. イメージビジュアル  
「構造触感」谷川聡志、山中俊治+新野俊樹（上）、  
「CanguRo」山中俊治+千葉工業大学 fuRo（Photo by Yusuke Nishibe）（下）

21\_21 DESIGN SIGHT 企画展  
「未来のかけら：科学とデザインの実験室」  
2024年3月29日（金）－8月12日（月・祝）

21\_21 DESIGN SIGHT では、2024年3月29日より企画展「未来のかけら：科学とデザインの実験室」を開催します。展覧会ディレクターには、幅広い工業製品のデザインや、先端技術を具現化するプロトタイプの研究を行うデザインエンジニアの山中俊治を迎えます。

みなさんが思い浮かべる未来は、どのような姿でしょうか。あまりに壮大で漠然としており、はっきりとした輪郭をつかむことは難しいかもしれません。しかし、だからこそクリエイターたちは、未来に対するさまざまな可能性に思いをはせます。美しく、驚きにあふれた、より魅力的な世界を想像し、プロトタイプを通じて確かめるのです。今わたしたちが未来のかたちをはっきりと描くことはできなくても、生み出された「未来のかけら」を通じて、その一部にそっと触れることはできるかもしれません。

本展では、山中が大学の研究室でさまざまな人々と協働し生み出してきたプロトタイプやロボット、その原点である山中のスケッチを紹介するとともに、専門領域が異なる8組のデザイナー・クリエイターと科学者・技術者のコラボレーションによる多彩な作品を展示します。最先端技術や研究における先駆的な眼差しとデザインが出合うことで芽生えた、未来のかけらたちを紹介します。

多様な視点が交わり、想像力が紡がれる会場で、科学とデザインが織りなす無数の可能性と、まだ見ぬ未来の世界に向かうデザインの楽しさを体感する機会となれば幸いです。

## ■ ディレクターズ・メッセージ

いつの時代も、最先端の科学技術とデザインはすぐそばにありました。科学者が生み出す新しい知識や技術はデザインを通じて人々の元へ届けられました。デザイナーたちによって開かれた新しいライフスタイルは、次の研究のトリガーであり続けました。しかしながら、科学者たちの本当の関心は大いなる真理を探究することであり、デザイナーたちの目標は人々の幸福な体験や豊かな社会の実現にあるので、両者は必ずしも同じ道を歩むことはできません。科学とデザインは近くにいながら、その間には越えがたい溝もあるのです。

そのような緊張感をはらんだ科学とデザインの関わりには、初めてかのような新鮮な出会いがあり、葛藤があり、ドラマがありました。そして時代ごとに、自動車や家電、コンピュータ、スマートフォン、SNS など、私たちの生活が一変するようなイノベーションを生み出してきました。

本展は、今まさに起こっている科学とデザインの邂逅により芽生えつつある「未来のかけら」を探るものです。本展ディレクターである山中は2001年以降ロボットの研究者とともにちょっと未来を感じさせるさまざまなプロトタイプをつくってきました。2013年に東京大学に教授として着任してからは、まだ実用化されていない先端技術に形を与え、研究者と共に未来を探る「Design-Led X（価値創造デザインプロジェクト）」をスタートさせました。

企画展「未来のかけら」では山中のそうした活動をコアに、さまざまな分野の研究者とクリエイターたちの新たな「出会い」を集めます。最先端のロボティクス、積層造形、構造形態学、身体拡張、バイオエンジニアリングなどの研究者たちと、さまざまな分野のデザイナー、アーティストたちがタグを組んで未来のかけらを錬成します。サイエンスフィクションのようなプロットにとどまらず、質感や動きを伴った体験を共有できるリアルな物語の断片です。実験室で生まれたばかりのピースを繋ぎ合わせてまだ見ぬ世界を描くのは、ご来場いただく皆さんです。

山中俊治



02. 山中俊治

### 山中俊治 Shunji Yamanaka

1957年生まれ。東京大学工学部卒業後、日産自動車のカーデザイナーを経て1991-94年東京大学特任准教授。1994年にリーディング・エッジ・デザインを設立。デザイナーとして腕時計から家電、家具、鉄道車両に至る幅広い製品をデザインする一方、科学者と共同でロボットビークルや3Dプリンタ製アスリート用義足など先進的なプロトタイプを開発してきた。Suicaをはじめ日本全国のICカード改札機の共通UIをデザインしたことも知られる。2008年より慶應義塾大学教授、2013年東京大学教授。2023年には東京大学特別教授の称号を授与された。ニューヨーク近代美術館永久所蔵品選定、グッドデザイン賞金賞、毎日デザイン賞、iF、Red Dotなど受賞多数。

## ■ 開催概要

|      |  |
|------|--|
| タイトル | 21_21 DESIGN SIGHT 企画展「未来のかけら：科学とデザインの実験室」   |
| 会期   | 2024年3月29日(金) - 8月12日(月・祝)   |
| 休館日  | 火曜日  |
| 開館時間 | 10:00 - 19:00 (入場は18:30まで)   |
| 入館料  | 一般1,400円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料   |
| 会場   | 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1 & 2<br>〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン<br>Tel. 03-3475-2121 www.2121designsight.jp |
| アクセス | 都営地下鉄大江戸線「六本木」駅、東京メトロ日比谷線「六本木」駅、<br>東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩5分  |
| 主催   | 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団   |
| 特別協賛 | 三井不動産株式会社  |

|                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 展覧会ディレクター                 | 山中俊治                  |
| 企画                        | 野村 緑 (fuRo)、村松 充、阪本 真 |
| グラフィックデザイン                | 岡本 健 (岡本健デザイン事務所)     |
| 会場構成                      | 萬代基介 (萬代基介建築設計事務所)    |
| テキスト/企画協力                 | 角尾 舞                  |
| テクニカルディレクション              | 古田貴之 (fuRo)、杉原 寛      |
| 21_21 DESIGN SIGHT ディレクター | 佐藤 卓、深澤直人             |
| アソシエイトディレクター              | 川上典李子                 |
| プログラム・マネージャー              | 中洞貴子                  |
| プログラム・オフィサー               | 鈴木麻耶、安田萌音             |

## ■ 今後の展覧会

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| タイトル      | 21_21 DESIGN SIGHT 企画展「ゴミうんち展」 |
| 会期        | 2024年8月30日(金) - 2025年1月26日(日)  |
| 展覧会ディレクター | 佐藤 卓、竹村真一                      |
| アートディレクター | 岡崎智弘                           |
| 企画協力      | 狩野佑真、清水彩香、蓮沼執太、吉本天地            |
| 会場構成      | 大野友資 (DOMINO ARCHITECTS)       |